

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和3年度分）

施設	名称	栃木市いまいずみ児童館
	所在地	栃木市今泉町1-2-7
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名称	(株)メディカルフィットネスとちの木
	所在地	栃木市野中町553
	主な業務内容	栃木市いまいずみ児童館の管理運営

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値
	利用案内掲示数		5か所	5か所
	運営方針研修		年4回	年6回
	アンケート数合計		300件	139件
	意見反映数		15件	37件
	利用者満足率		80%	80%

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20

指定管理者コメント

①児童福祉法に基づいた施設運営の基本方針を明文化し、事務所内に掲示しました。年6回の運営方針研修や朝礼の中で、施設運営の基本方針や事業計画、関連規定等について職員への周知と理解を図りました。

②利便性の確保への取組みとして、イベントや利用方法等についての案内を館内5か所に掲示し、初めての方でも利用しやすい雰囲気づくりに努めました。また、平等性の確保への取組みとして接遇研修を実施し職員のホスピタリティの向上を図るとともに、全ての利用者様への公平公正な接遇に努めました。

③アンケート調査の実施、また会話や設置した意見箱から利用者の意見収集と内容の把握に努めました。アンケート集計数はイベントの中止が続いた為、参加者アンケートの集計数が伸びず、計画値には至りませんでした(利用者アンケート101件、参加者アンケート38件)。頂いた意見のうち37件については施設の設置目的等を踏まえ、管理運営に反映しました(利用者アンケートから28件、イベント参加者アンケートから8件、会話から1件)。

④収集した意見等は内容を確認し、職員間で情報を共有しました。また要望や苦情の対応について研修を行い、早期解決と職員対応による苦情の深刻化・長期化の防止を図りました。今年度は大きな苦情はなく、また意見から苦情に発展するケースはありませんでした。

施設所管課コメント

・新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を十分に理解し、職員の努力により利用者から感染者を出すことなく適正な運営が実施できたものと理解します。

・アンケート調査や意見箱により利用者から頂いた意見について、職員間で情報を共有し、施設の管理運営に反映したことが利用者の満足度に現れているものと思われます。今後も設置目的等を理解していただきながらより良い運営に当たっていただきたい。

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者の増加2021年度実績		7,000人		7,342人		
	ホームページ更新回数		12回		12回		
	じどうかんだより発行回数		12回		12回		
	新規事業数		4事業		5事業		
	新規自主事業開催数		15回		3回		
	地域・関係団体等との協働事業回数		15回		15回		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①新型コロナウイルスの影響による臨時休館やイベントの中止等もありましたが、それを補う取組みとして、イベントの開催数を増やしました。その結果、設置目的に合致した事業を98回開催し利用者計画値を達成しました。管理運営にあたっては、職員と施設・備品等の感染予防対策を徹底し、利用者の安全・安心を確保した中で行いました。</p> <p>②広報とちぎやじどうかんだより、ホームページの他にLine@を活用し、情報発信を行いました。新規利用者の増加に繋がる工夫として、美術教室で制作した工作の写真などをアップしイベント内容を掲載したり、新規事業のポスターを作成し掲示するなど、施設の取組みや魅力が伝わる情報発信に努めました。</p> <p>③新規事業による新規利用者の増加に向けた取組みとして、計画に掲げた新規事業を開催しましたが、新型コロナの影響もあり2事業のみ開催となりました。これを補う為、新たに親子体操と春休み・冬休み工作イベントの3事業を開催し、今年度の新規事業は5事業、新規自主事業開催数は3回となりました。またこどもの日を開館し、開館日を増やしました。</p> <p>④いまいずみ児童館を拠点として活動するチャレンジ母親クラブ（14回、参加者82名）と栃木県立栃木農業高等学校（1回、参加者19名）と協働事業を開催し、地域・関係団体との連携を深めました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館や、感染症対策のための利用制限がありましたが、そのような中でもイベントの開催数を増やしたり、新規事業の開催、チャレンジ母親クラブや栃木県立栃木農業高等学校との協働事業を実施するなど、地域や関係団体との連携を深める工夫が見られます。今後も感染症対策に十分注意し事業の実施を希望します。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	本社及び税務会計事務所によるチェック数		4回	8回			
	購入品見積もり合わせ		5件	6件			
	設備・備品更新数		5回	7回			
	廃棄物の再利用		10回	27回			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	I	1.0	15
指定管理者コメント	<p>①指定管理料や自主事業の収支手続については専任の担当者に加え、財務会議を年8回開催しました。本社による2重チェックで確認体制を強化し、税理士の指導・助言のもと適切で透明性の高い管理を行っております。</p> <p>②無駄のない空調提供として、使用している空間としていない空間を明確する省エネ活動を実践しました。また最大使用電力を抑えることで効果的に電気料金の削減が可能となることを全スタッフに周知し、その取り組みとして、安全性と快適性を維持した施設全体の空調管理を行いました。</p> <p>③外部委託は当初計画2件のうち、屋外害虫駆除を自前で実施し、委託経費を削減しました。その他に2件の小破修繕、エアコン室内機のクリーニング、緑地管理は職員が対応しました。また6件の購入備品見積合わせを行い、経費削減に努めました。</p> <p>④施設や備品等の各種点検を実施し、状態に応じた必要な修繕・手入れ等を行いました。良好な状態の維持に努め、備品については備品調書により適切に管理しました。また変電設備の改修工事を行い、電気の安定供給を図りました。備品の更新はジャングルジムの更新を含め7件行いました。環境配慮への取り組みとして、行事工作物材料等は廃棄物を再利用し、購入備品は環境ラベル表示品を優先しました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・施設経費について、無駄のない空間の活用や職員の対応による節減を行うなど、高い意識を持ち運営に当たっていること理解します。今後も環境に配慮し、経費の節減と利用者の満足度を満たすことのできる運営を期待します。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	館長会議出席			毎回	毎回	
	人員配置数			5人	5人	
	職員研修会実施回数			年12回	年15回	
	健康保険料・各種税金納付率			100%	100%	
	経営収支比率			100%	100.24%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①館長会議には毎回出席し、所管課・各施設との連携を深めました。仕様書に基づいた人員配置実施計画に沿って、既定の人員を配置しました。労働基準法を遵守した勤務ローテーションの中で、適正な管理運営体制を確保しました。新型コロナウイルス感染への対策として、職員は毎朝の検温と体調チェック、予防衛生を徹底し、欠員により適正管理の低下を招かぬよう努めました。万が一感染が確認された場合には作成したマニュアルに沿って、本社より人員を補充する体制を整えました。					
	②社内マニュアルを活用した職員研修を年15回実施し、安定した管理運営体制に取り組みました。また、外部専門研修会には年4回、4名が参加し、専門知識の習得とスキルアップに努めました。					
	③法定福利厚生のほか、健康診断、栃木県社会保険協会への加入（各種割引券の発行）、栃木市勤労者福祉サービスセンター（ウェルワークとちぎ）への加入補助、関係関連施設の利用補助などを行い、勤労意欲や能率の向上を図りました。					
	④専任の担当者が社会保険労務士や税理士の助言・指導を得ながら、社会保険料等の納付や、国・県市への納税などを適切に納めました。					
	⑤別紙					
施設所管課コメント	・ 適正な人員配置に基づき運営が実施されており、新型コロナウイルス感染症対策としての欠員補充体制も万全であり、適正な運営が行われているものと理解します。					
	・ 今後も職員の勤労意欲や資質の向上がされるよう継続した体制整備をお願いしたい。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	定期安全点検実施回数		12回	12回			
	児童安全共済制度加入		100%	100%			
	消防訓練実施回数		2回	2回			
	安全講習会		年2回	年6回			
	個人情報保護講習会		年1回	年3回			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	II	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①防犯・防災パトロールや自主点検を含めた日常点検を実施しました。また遊具点検や施設点検などの定期安全点検を実施し、事件・事故の未然防止と利用者の安全確保に努めました。</p> <p>②危機管理マニュアルを作成し、研修を行いました。迅速な体制づくりを可能にする為、所管課や関係機関との連携や連絡体制の確認を重点的に行いました。また、当施設は災害発生時において、指定避難所としての役割も担うことから、施設特有のライフラインの供給体制や非常灯などについて、理解を深めました。</p> <p>③年2回の消防総合訓練を実施しました。また安全講習会を年6回実施し、救急車の要請から救急対応までの流れや行動について、緊急時を想定した訓練を行いました。</p> <p>④栃木市個人情報保護条例及び個人情報保護者内規定に沿って、研修を実施しました。日常業務により反映できる工夫として、現場での個人情報の取り扱いや注意点などの具体例を取り上げ対応について職員間で情報交換をし、新人スタッフの早期育成にも努めました。個人情報保護関連資料を含めた各種マニュアルは、全職員がいつでも閲覧、確認できる環境を整えております。関係書類は裁断処理を行い、確実に破棄しました。</p>						
施設所管課コメント	<p>・施設管理については、適正に行われているものと理解します。</p> <p>・安全講習を新たに設け、6回行うなど、緊急時の万全な体制づくりがうかがえます。新型コロナウイルス感染症のような目に見えない危機への対応も必要となることから、情報収集等含め今後も安全対策に万全な対応をお願いしたい。</p>						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	16	
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	16	
評価点合計	100	87	83	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価 (選定委員会評価)	
選定委員会コメント	

## (4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

## ⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期
資産総額	103,247,748	82,576,945	75,416,940
売上高	355,400,002	298,840,799	321,257,852
経常利益	1,834,088	△ 14,149,418	777,958
当期利益	1,668,688	△ 14,314,818	612,558
経常収支比率	100.5%	95.6%	100.2%

## ※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期
経常費用	355,670,911	321,829,294	327,395,680
経常収益	357,504,999	307,679,876	328,173,638
経常収支比率	100.52%	95.60%	100.24%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

## 指定管理者コメント

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で緊急事態宣言が発表され、当施設も人数や規模を縮小しての営業が続く1年となりました。営業中は感染拡大防止と衛生管理、安全管理の徹底を図り、利用者の方々には感染対策のポスター掲示などによる周知を行い、施設を安全に、安心して利用して頂けるよう努めました。休館中及び利用制限中は、危機管理や衛生・安全管理などのミーティングを行い、情報を共有すると共に、施設の点検や修繕、施設管理の研修を行いました。また、休館や利用制限に伴う経費の削減は、施設の管理運営状況を考慮しながら市の担当課と協議し、指示を仰ぎ適切に行いました。